

ケーソン製作 あれこれ

11月のある日、鹿島港ケーソンヤードで製作中のケーソン（コンクリートの函）が海上に引き出されました。



ケーソンの大きさによってはケーソンヤードのなかで工事が完了するものもありますが、ケーソンヤード内では完成できず、海上打ち継ぎ場へ移動して更にコンクリートを打ち継いで所定の大きさにして完成させる場合があります。

この後、ケーソンは港内の海上打ち継ぎ場の所定の場所に仮置きされ、さらに工事が進められます。





起重機船に押されて海上打ち継ぎ場へ



この場所でさらに4 mほどコンクリートが打ち継ぎされ、完成となります。
ケーソンは防波堤や岸壁の一部になります。
今回製作されるケーソンは、完成後、茨城港常陸那珂港区まで曳航され中央埠頭の岸壁の一部になります。

ケーソンが製作されるケーソンヤードは工事のない時は下のようになってます。



工事が始まると・・・

コンクリート打設のための
型枠と相当数の鉄筋が組み
まれています



1段目のコンクリートの打設も始まり・・・



さらに、2段目組み立て・・・



コンクリート打設



3段目





ケーソンヤード内での工事が完了しました



高さ 11m 長さ 約15mの
コンクリートの函（はこ）が完成
です



ケーソンヤード内に海水が注水されると、約750tのケーソンが浮上します

ケーソンヤード内での工事が完了したケーソンは、さらに既定の大きさにするため、港内の海上打ち継ぎ場へと移動されます。

引き出し作業が始まるまでの 束の間の休憩

① ケーソンヤード内で完成した
高さ11mのケーソン
上部までコンクリートの打設が完了し
ています。



② 海上打ち継ぎが予定されている
ケーソン
上部に見えるのは更に鉄筋を繋ぎ、
コンクリートを打ち継ぐために必要
な鉄筋



ケーソンヤードのゲートを開けて
ケーソンの曳航が始まります。

次回は 海上打ち継ぎと曳航、
ケーソン据付けを予定